

【要点】②三角形の相似条件

<三角形の相似条件>

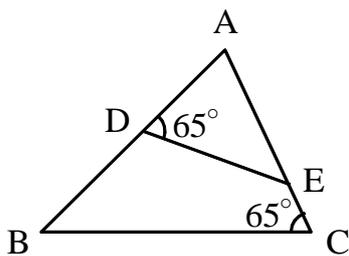
2つの三角形において、次のいずれかが成り立つとき、その2つの三角形は相似となる。

- | | | |
|------|---|---|
| 相似条件 | { | ① 3組の辺の比が等しい (3辺比相等) ② 2組の辺の比が等しく、その間の角が等しい (2辺比夾角相等) ③ 2組の角がそれぞれ等しい (2角相等) |
|------|---|---|

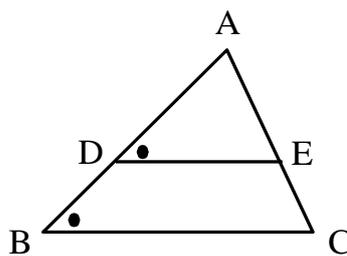
※相似の証明問題では③を利用することが最も多く、次に②が多い。
 まずは、③を使えないかを考え、次に②、①の順に考えていくとよい。

[例題] 下の図で、それぞれ△ABCと相似な三角形を、記号「 \sim 」を用いて表せ。
 また、そのとき用いた相似条件をいえ (頂点の対応に気をつけること)。

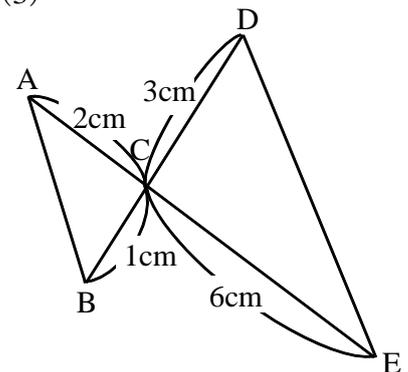
(1)



(2)



(3)



[解]

(1) $\triangle ABC \sim \triangle AED$

(2組の角がそれぞれ等しい)

(2) $\triangle ABC \sim \triangle ADE$

(2組の角がそれぞれ等しい)

(3) $\triangle ABC \sim \triangle EDC$

(2組の辺の比とその間の角が等しい)

